

平日夜間・休日における外来薬物(化学)療法体制整備事業

1 課題

- (1) がんに罹患で離職(約25%)、収入が減(約48%)
- (2) 平日夜間の外来薬物(化学)療法を行っている病院は都内にない
 ※都民ニーズは高い(利用する74.3%)
- (3) 病院としてもニーズがあると思っているが(ある 63.2%)、
 参入が困難(具体的な患者ニーズ、運営体制)



今後

- (1) 離職・収入減の人数を減少させる
- (2) 働きながらも治療を受けることができるよう医療環境を整備
- (3) 都内病院の平日夜間・休日外来薬物療法の実施を促す

2 事業内容

- | | | |
|--------------|--------------------|--------------------|
| (1) 診療内容 | 平日夜間・休日の外来薬物(化学)療法 | (4) 検証内容 |
| (2) 診療時間(目安) | 平日夜間・休日のうち3日程度 | ①就労支援の効果(患者アンケート等) |
| (3) 実施規模 | 平均患者数等実績を踏まえて実施 | ②収益の把握/事業分析 |
| | | (5) 事業報告 |

3 スケジュール

平成30年度	平成31年度				令和2年度
	4月	7月	10月	1月	4月
内容 協定書 検討	協定締結	報告 四半期	ト アン 集計① 期 ケ 報 告	報告 四半期	ト アン 集計② 期 ケ 報 告 実 績 報 告
31年度 事業	R2年度事業				